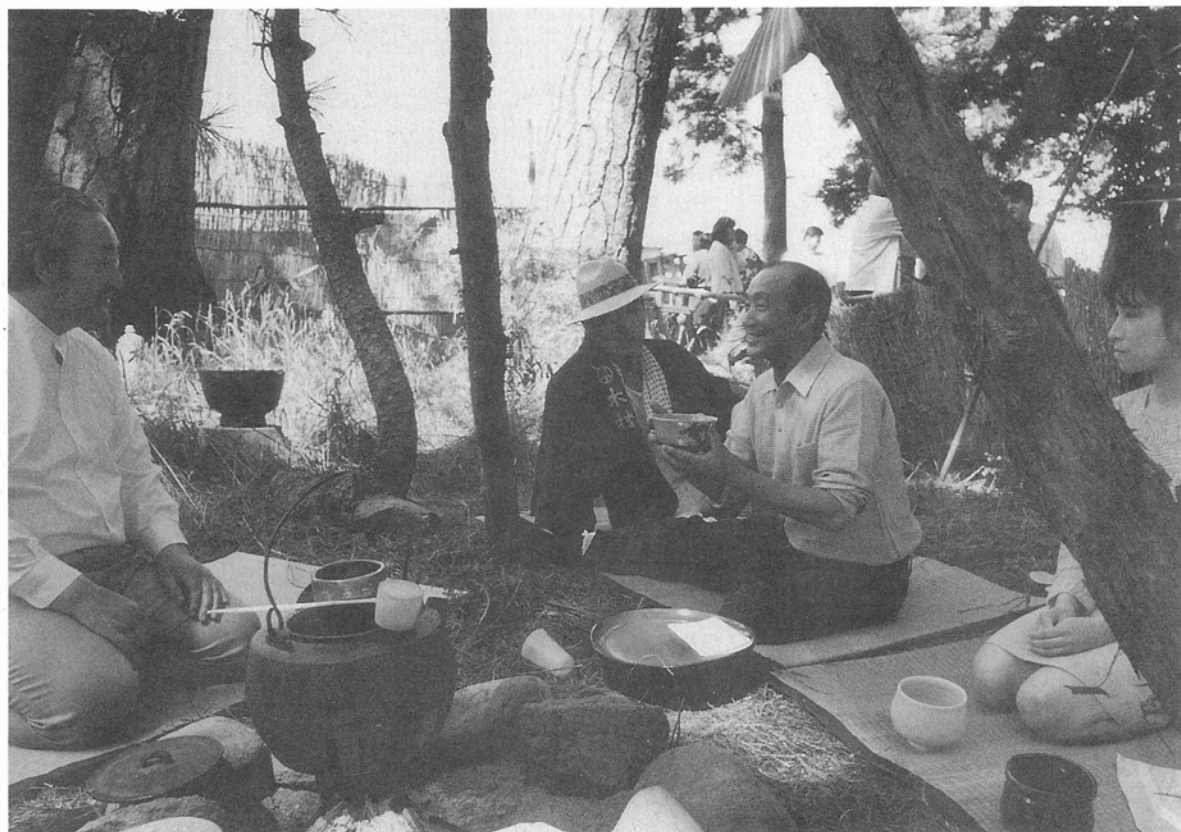


- 中沢田植祭から.....2~3
- 青少年赤十字団が植樹／教育長月報.....4
- 民生課から.....5
- 各課から.....6
- 各課から／せんりゅう北緯41°.....7
- 水の事故防止.....8
- 談話室／行事予定.....9
- けっばる蓬田人／戸籍の窓口.....10

広報

よもぎだ



野に出よう 自然はいつも待っている!

7月
1990

移す手に光る蛍や指のまた
お薄を一服いただく。
好きな茶碗だ。どっしりと
心地好い重さ、手にちょうど
いい大きさ。唇にしっとりく
る口づくり。しゅい色と、ど
んな人が作ったのだろうと想
像したくなるような形を持つ
ている。しばらく、両手に持
ったり、そばに置いて見たり
して楽しむ。隣の記者に「こ
んな男に会ったら、お嫁に行
くといい」と言ったらキョト
ンとしていた。

お薄というのは、抹茶のこ
と。場所は、中沢にある神社
の境内。長い丸太の三脚架に、
頂点から葉を残した松の枝を
鉤につるし、大きな釜をかけ
ている。ゴザがそれを取り巻
いて敷いてあり、客が三々四
人。亭主は部落長。雄大な野
点の席である。こんな茶席だ
ったら、気軽に茶が楽しめる
など、ひそかに思う。

うれしい一日だった。

太祇

●早乙女があでやかに手植

中沢部落が田植祭を実施

稲作文化を見直そうと独自に考案

去る五月二十七日(日)、中沢部落が田植え後の休日である「さなぶり」の行事として独自に考案した田植祭を開催しました。日本の文化を形づくってきた二千年の稲作文化を継承し、「結(ゆい)」と「和」の精神を尊重し、明るく豊かな新しい村をつくらうと実施したもので、おごそかな、にぎやかな、部落あげての一大行事となりました。

古きを尋ねて、新しきを知る

二千年の稲作文化を継承し、「結」と「和」の精神を尊重して新しい村を創造しよう、と、中沢部落は独自に田植祭を考案し、このたび実施しました。

部落の総意で取り組むことになったこの祭、言うは易く、行うは難いと言葉どおり、一朝一夕には運ばなかつたようですが、大きな実がつけました。総会で開催を決め、委員会が詰めの会議を重ね、実行委員会も組織しました。一方、部落に組織されている各班では、それぞれ仮装、出し物について数回の会合をもつたよ

うです。

早乙女衣装の人形が歓迎!

前日には国道中沢稲荷神社入り口に、笠に赤いタスキで美しく着付けられたマネキンが二体、道行く人の気を誘い祭りの開催を告げています。日が暮れても、準備は続きます。青年から高齢者まで、それぞれの持ち味を生かした会場づくり、文字通り手作りなのです。



サイギサイギの掛け声で!

五月二十七日午前九時、産土(うぶすな)の稲荷神社から祭田に向けて行列が出発し、祭は始まりました。部落長が、先頭、続いて神主



そして村人。しんがり(最後)が軽トラックで太鼓が積み込まれています。衣装もそれぞれが工夫をこらして、部落長は羽織・袴で

すが、サグリ(裂き織り)を着ている人もあれば、カスリの刺子を着ている人もいます。



持ち物も様々、ある者は供物を手にある者は五色の旗を、また苗運びのカゴ様のものを肩にしている人もいます。

二百人近い行列は、良く晴れた空の下を、昔ながらの太鼓の音とともに山参詣のサイギサイギの掛け声を掛けながらゆつくり進みます。道路には老人クラブがなつ

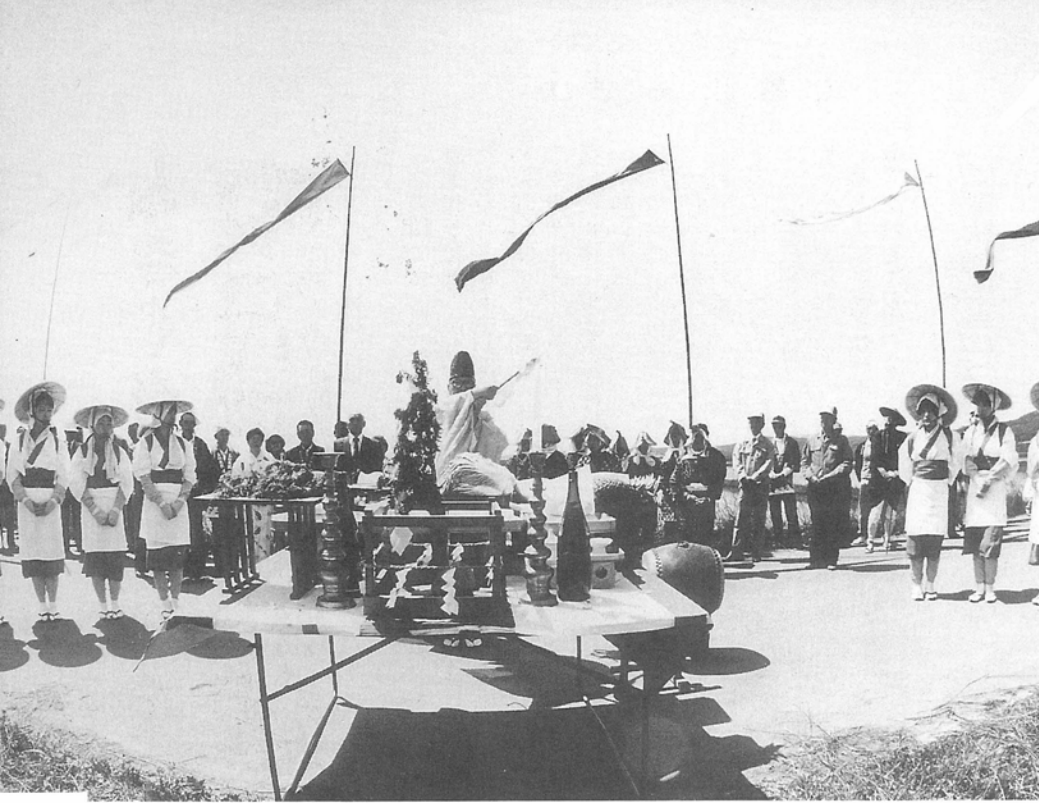
たしめ縄が張られ、所々には色とりどりの風車が置かれ、涼風にクルクル回っています。

「早乙女」九名が田植え!

しめ縄に囲まれた祭田に到着し、お払いなどの神事を済ませ、いよいよ田植えの始まりです。



まず、型つけ。昔使った木製「型」を転がして、苗の植える位置を田んぼに刻みます。そして、そろいの衣装を着た農家の娘さん九人による



「早乙女」が横一列に並び、一株一株ていねいに植え付けに行きます。
 早乙女全員が田んぼに入るのは初めての経験でしたが、「なかなか上手」と参列したベテランの評価でした。

帰りは流し踊りで！
 無事田植えが終わり、今度は仮装を始めます。昔使ったソリや肥桶を持ち出し、笠とケラになる者もあれば、花嫁姿になる人もあり色々です。

仮装しない人達は、流し踊りで、次の会場である神社に帰ります。



料理は手作り、器はプラスチック禁止

神社境内には、一面にシートが敷かれ客席となり、招待者も部落の人もそこに座ります。周りに、トラック二台を並べて紅白の幕を張った特設



舞台や、炉縁を中央にすえ民具を置いて再現した民家、綿飴売り、野点茶席が取り巻いています。
 招待者へのごちそうを見てみましょう。塗物のお膳に、赤飯とついたばかりの餅（普通のものとは蓬を使ったもの）で作ったお汁粉、身欠きニシン、煮しめが並んでいます。
 どの料理も手作りで、もちろん、プラスチック容器は使用禁止。塗り碗や陶磁器の皿が使われ中沢部落の心意気を見せています。このほか、その日とれたばかりのイワシを大量に炭火で焼いて全員にふるまいます。

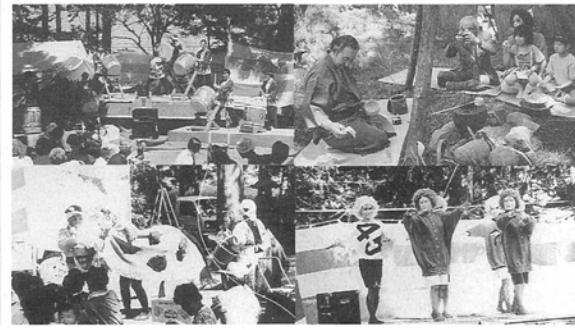
余興は特設舞台で盛大に！

特設舞台では、各班がこの日のために趣向をこらし練習を重ねた余興が次々と披露され、昨年の秋に村制施行百周年を記念してつくられた「玉

松大鼓」も友情出演し、祭りに花を添えました。

お茶も用意しました
 野点の茶席は、スグレで区切られ亭主は部落長自らがつとめます。

心が落ち着くようにと、準備された抹茶は、興味深げに訪れるお客に、宴も半ばで品切れとなる程の人気でした。



毎年開催の要望も

祭りは部落の人が一体となつてつくりあげたためか、なごやかで楽しい内に終了となりました。

青森市内から駆けつけた人や、マネキンに招かれたのか外人もいたりし、こんなに楽しく心温まる祭りはどこにもないと好評で、毎年やってくれば良いという声も多く聞かれました。さて、どうなるのでしょうか。

大きく育ってね!

青少年赤十字団が玉松台上に桜の木を植樹

五月二十三日(水)、村青少年赤十字により玉松台北側に五年ものの八重桜が植樹されました。

この桜は、村連合婦人会(二唐美代子会長)から寄付されたもので、昨年から活動を始めた蓬田小・中学校とともに、今年青少年赤十字に加盟した蓬田幼稚園の児童も一緒に実施しました。

午後一時、玉松台上に集合した団員と関係者は、青少年赤十字団旗を立て、まず、赤十字精神の「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の心を誓い合いました。

その後、早速、幼稚園、小中学校の各代表、二唐連合婦

児童扶養手当について

この手当は、父母の離婚等により、父と生計を同じくしていない児童を養育している母等に対して支給されます。

昭和六十一年の法改正に伴い、この手当の認定請求書は、(昭和六十一年八月一日以降)に支給要件に該当することになった

人について)支給要件に該当した日から起算して五年を経過した場合は、正当な理由があるときを除き認定請求ができません。ご注意ください。



人会長、坂本日赤友功会長、八戸村長、奈良教育長により植樹されましたが、「心豊かで、思いやりのある子供」になれるようにと、それぞれが心をこめての植え付けとなりました。

報月長教育

教育長 奈良 尹

(指定村赤十字

活動と花の話)

「赤十字団活動」というと、なんとなく固い感じ、古いイメージで受けとられているようだが、ちがうだろうか。

例えば「赤い羽根、緑の羽根、共同募金、歳末たすけ合い、難民救済」等々いろいろあるが、目的も主旨も赤十字活動と似たり寄つたりのように思われるが、その違いはなんだろう。

一方は、テレビ、新聞報道によりその取扱いが大大

だ。情報として一瞬にして周知されるし、それに取扱う時期もそれにふさわしいタイミングなのである。その点こちら赤十字活動は、日常的で緊急性に乏しかったりするものだから情報網に乗りにくいといったことでないだろうか。

ただし、ここが違うと思うことが一つあるのです。例え

ば不幸にして戦争が起こったり、又一国が破滅状態になるような災害があったりした時など、いわゆる国際間の人道上の問題に関してよく「赤十字社」の名前が出てきます。

この巨大な権力をもっている赤十字の存在は、欧米から発生し今や国際連合加盟国のすべてにこの赤十字社があるのです。

即ち私共の奉仕活動、友愛の精神が国際活動の原動力になっていることをこの際更めて認識していただきたいのです。

活動が地味で陰の人のような存在でありますが、誇りをもって「赤十字活動」に参加していただきたいのです。

時に共同募金に応募することも、赤い羽根募金に応ずることも、底に流れる精神は赤十字精神なのかも知れません。

先般「青少年赤十字活動の指定」を受けた記念に、玉松台の墓地のうしろ側に五年ものの「八重桜」を植えました。毎年咲く花を見て、その精神を思い起こすためにも。

幼・小・中代表と有功会奉仕団代表の手によって植えてこまれたのです。

八重桜を選んだのはそれ程意味のあることではありません。八重桜はあちこちの家に見られ風土に合うように思ったからです。

学校も元気よくスタートしました。又この一年何かと御協力をお願いします。でよろしくお願ひします。

先づ東郡一を目指し、県一を目指して頑張りましょう。

交通事故はウルサイと言われる位注意を促して下さい。

愛の献血ご協力ありがとう！

6月8日実施

男性三十七名
女性十七名の協力

たくさんの方々の善意によって支えられている献血。一人一人の、あたたかな心が尊い命を救っています。献血は、満十六歳から六十四歳までの健康な方で、体重が男性四十五kg・女性四十kgを超える方ならどなたでも参加できます。

| | | | | | | | |
|------|----|----|-----|----|-----|----|-----|
| 中長 | 沢科 | 坂本 | 亮 | 坂本 | ミヤ | 坂本 | 比士 |
| " | " | 坂本 | 万蔵 | 工藤 | 美智子 | 小鹿 | 重一 |
| 阿弥陀川 | 青木 | 藤村 | 克彦 | 八戸 | 弘子 | 青木 | みつ子 |
| " | 青木 | 青木 | 実 | 高木 | 隔道 | 八戸 | 緑 |
| " | 金枝 | 金枝 | 晃 | 坂本 | 真知 | 白取 | 秀子 |
| " | 木村 | 木村 | 伸一 | 青木 | 倉元 | 八戸 | 通正 |
| 蓬田 | 中村 | 中村 | 大八 | 津島 | 博文 | 吉崎 | 良一 |
| " | 武井 | 武井 | 里美 | 工藤 | 三男 | 細谷 | 昭子 |
| " | 津島 | 津島 | 俊則 | 小松 | 生佳 | 二唐 | 美代子 |
| 宮本 | 太田 | 太田 | 信雄 | 森 | 宮子 | 福井 | 幸正 |
| 郷沢 | 畠山 | 畠山 | あい子 | | | | |
| " | 高田 | 高田 | 恵美 | | | | |
| 瀬辺地 | 田中 | 田中 | 武 | 越田 | 茂弘 | 越田 | 守 |
| " | 木村 | 木村 | 先雄 | 坂本 | 登 | 山館 | 輝久 |
| 広瀬 | 佐井 | 佐井 | 邦彦 | 木浪 | 淳子 | 久慈 | 修一 |
| " | 川崎 | 川崎 | 幸治 | 佐井 | 勝治 | 柿崎 | 真人 |
| 高根 | 稲葉 | 稲葉 | 貢 | 稲葉 | 裕美子 | | |
| 村外の方 | 木村 | 木村 | 春美 | 坂本 | 勲 | 川崎 | 清春 |
| " | 佐井 | 佐井 | 修次 | 梨本 | 重利 | 青木 | 百合子 |
| " | 坂本 | 坂本 | 勝教 | | | | |



婦人少年室協力員に二唐さん

平成二年四月一日より二年間委嘱



二唐美代子さん

労働省婦人局では、勤労婦人及び勤労青少年の保護と福祉並びに婦人の地位向上、その他婦人の問題に関する相談等、婦人少年行政の円滑な運営をはかり、本行政の地域への浸透を期するために、昭和二十八年より婦人少年室協力員制度を設け、民間の立場から協力、援助していただいておりますが、加えて昭和四十五年勤労婦人並びに勤労青少年に対する相談指導業務体制を拡充強化するため、特別協力員制度を設けております。協力員は、その地域において社会的信望があり、婦人、勤労青少年問題に深い理解と関心を持ち、婦人少年行政に積極的に関与しようとする熱意を有する主として民間の有識者に対し、労働大臣が委嘱しているものですが、このたび四月一日付けをもちまして、二唐美代子（蓬田）さんが委嘱され、今後二年間、婦人少年室協力員として活動されますので、ご協力をお願いいたします。

犬の放し飼いはやめましょう！

犬の放し飼いによる通行人・家畜への被害が後を絶ちません。飼い主は、必ず鎖などを付けて飼って下さい。

- 不要犬の引取りは、毎月第3水曜日を予定しています
 - 飼い犬の引取りを希望する方は役場民生課・衛生係までご連絡下さい。
- ☎27-2111 (内) 232



あなたが写した思い出に残る、気に入った写真を毎月広報で紹介するコーナーをつくりましたので、どしどしご応募下さい。

- 《応募の資格》・村内に在住する方
- 《写真サイズ》・普通のサービス判
- 《内容》・どんな内容の写真でもかまいません。
- 《応募方法》・郵送または持参して下さい。
- 《応募期間》・常時受け付けております。
- 《発表》・採用された方の写真は広報に掲載します。
- 《粗品》・採用された方には広報オリジナルテレホンカードを差し上げます。
- 《問い合わせ先》
・役場総務課 広報係 ☎27-2111(内)224

蓬田村農業委員会委員

一般選挙が執行されます。

◆投票日時……………平成二年七月十五日(日)
(午前七時から午後六時まで)

◆届出に関する……………平成二年七月三日(火)午後二時
説明会 蓬田村役場二階会議室

◆立候補届出……………平成二年七月十日(火)
午前八時三十分から午後五時まで

◆投票所……………村内四ヶ所
◆選挙会(開票)……………平成二年七月十五日 午後七時
蓬田村役場二階会議室

(参観人は制限させていただきます。)

◆投票入場券は各世帯に郵送します。他の選挙とはちがいで、投票記載所には立候補者の記名掲示等はありませんので注意してください。

*詳しくは、蓬田村選挙管理委員会まで ☎二七—二二—一

明るい社会は、あなたの一票から

みんなの幸せあなたの一票



村民体育祭は 7月29日(日)

部落の名誉をかけて
皆で楽しく、一日スポーツ

※雨天の場合は8月5日(日)に開催します

蓬田駅の花壇を手入れ!

村連合婦人会が実施

村の玄関口である蓬田駅に「はまなす」



六月五日(火)蓬田駅構内に村の花「はまなす」と、ホームの花壇に「ベチニア」「日々草」の苗を村連合婦人会(二唐美代子会長)が植付けを行いました。
婦人会では、もともと草むらだった駅構内に花を植えて綺麗にしようと奉仕を始めました。

六月五日(火)蓬田駅構内。蓬田村の玄関口で利用者に楽しんでもらい、今年で十年目になります。
この日、午前十時に駅前に集合した会員十五名は、一輪車、スコップ、草刈り鎌、じょうろ等七つ道具を持参して、早々に線路東側の草取りから作業を始めました。
これまで、プランターに植えられていた紅白の「はまなす」三十本を株分けして駅周辺に植え付けました。
またホームのプランターや花壇には「ベチニア」、「日々草」などの四季おりおりの花苗を植えて駅構内を一新させました。
作業は午前で終了しましたが、小野駅長と駅員の方も仕事の合間に慣れない手つきで草取りなどに一緒に汗を流し作業は順調に進みました。
これからの手入れは今までどおり阿弥陀川婦人会が行うこととなります。

りっぱな盆栽に変身!

村松楓会が鉢入れ

換えを実施



五月二十五日(金)、村松楓(しょうふう)会会長坂本孫九郎さん宅の作業場で、会員が所有する盆栽の鉢入れ換えと剪定(せんてい)作業が行われました。
当日、会員十名が持ち寄った十数点の盆栽を違う植木鉢入替えたり剪定をしました。
この日指導に来てくれた方は、(社)日本盆栽協会青森支部副支部長の田丸幸真さんと、吉崎昭一(青森市)さん

のお二人です。
お二人は、五年前から毎年春と秋の二回来村し、剪定作業の指導に当たってくれております。
また、毎年秋に行われている村民祭会場で行われていた剪定作業をしているのを見ることがある人もいると思います。
剪定されてりっぱになった松楓会の盆栽ですが、村で行われる各種行事等で活躍しているのをご存じでしたか。我々の知らない所で色々な形で活躍しているのです。

・車より 足で歩けよ 外が涼
・老いの足 支える子守 乳母車
・おさがりは 中は合っても 足かくれ
・テレビ見て 足でスイッチ 切る息子

森勝 節子 尚政

・フラダンス 手腰足先 タコに振る
・扁平足 三代つゞく 笑い種
・足音の 強さで計る 健康度
・足ふんで 他人の痛み 知らぬ顔。

池田 啓子 重彦 増吉

六月二十七日の東奥日報 朝刊の「東奥柳壇」コーナーに坂本勝子さんの句が入選し掲載されました。おめでとございます。



今の時期は 水の事故が多発！



大人が模範を示して犠牲者を無くしよう！

水の事故は、毎年六月から八月に、海や川で集中して発生しています。
昨年この三ヶ月に起きた水の事故は千二百二十七件で、年間総数（二千五百九十四件）の半分以上を占めています。また、水の犠牲者も多く、七百三十五人に上っています。

一向に減らない水の事故！

昨年の夏、海や川へ出かけた人は、例年より少なかったのですが、水の事故は一向に減りませんでした。

こうした水の犠牲者をなくしていくため、まず、なにを
していい事故にあったのかを
みてみましょう。

もっとも多い水泳中の犠牲者！

水の犠牲者が、もっとも多いのは、やはり「水泳中」で二百三十六人となっています。ついで、「魚とり・釣り」、「水遊び」の順となっています。

こうした傾向は、全体を通してのものですが、中学生以下の子供の場合には、少し違った傾向を示しています。

まず、もっとも多いのが、「水遊び」です。ついで、「水泳中」、「魚とり・釣り」の順になっています。

蓬田村でも昨年、二名の方（青森市）が「水泳中」に事故にあいました。

疲れた体で泳がない！

水泳中の事故が多い原因としては、「無謀遊泳」が挙げられます。これは、朝早くから車を運転して、疲れている

体でそのまま泳いだり、アルコールが入ったまま泳ぎに出たりすることです。川や海で釣りなどをしているとき、足元が崩れたり、バランスをうしなったりして水の中へ落ちてしまふのです。

水の怖さを再確認しよう！

では、こうした水の犠牲者をなくすため、わたしたち大人はどのようなことをすれば

暮らしと電気安全

(財)東北電気保安協会

電線近くの魚つりに注意！

東北地方のアユ釣りは、七月一日から解禁となります。

アユにはさまざまな釣り方がありますが、その中でも友釣りは他の国にない日本独自のものです、この釣り方はアユの生態をよく研究した釣師さんの知恵の賜物です。

ところで、最近の釣竿は八

びり十びりのカーボンブラック製長尺物が出回り、長いものは高い電線に接近したり、接

いいのでしょうか。
まず、自らが「無謀遊泳」などをしないことで、子供たちにも範を示すことが大切です。

また、水難の発生を防ぐために、家庭や地域で次のようなことを心がけましょう。

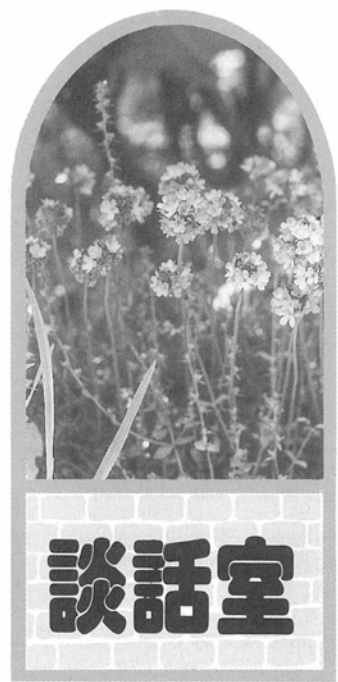
◆家庭・学校などで、水の怖さについて話し合い、子供だけの水遊びなど、してはいけないことを再確認しましょう。

◆身近な水辺を点検し、危険な場所を見つけたら、安全に必要な措置をとりましょう。

触して感電事故を起こしてしまいます。

竿は電気の流れやすい導電性材質ですから電線に触れると大変危険です。

電線近くでの魚釣りは感電事故のおそれがありますので十分注意しましょう。

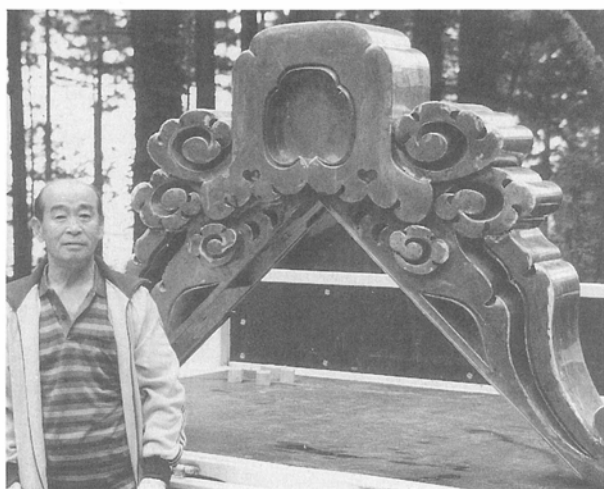


銅板鬼瓦はまかせて

今回は、板金職人としての腕を生かし、好きで始めたという鬼瓦（おにがわら）造り

に頑張っている張間実さんを取材しました。

張間さんは十五歳の時から板金職人として働いて来ました。今では息子さんに仕事を



No.29

かんぱる

張間 実さん
蓬田

談話室

バトンタッチし、好きな鬼瓦造りに専念しております。

先日、蓬田八幡宮の鬼瓦造りを部落ちから依頼され、約一ヶ月を費して完成させました。

六月一日に取付けも無事完了し、屋根の上で辺りをにらんでいる自作を見上げて一安心しているところです。

幅六尺（約一・八メートル）、奥行七寸五歩（約二十四センチ）あるこの作品は、厚さ0・6mmの銅板で覆われ、百年は持つということなんです。

毎日、朝六時から午後六時まで作業をしました。

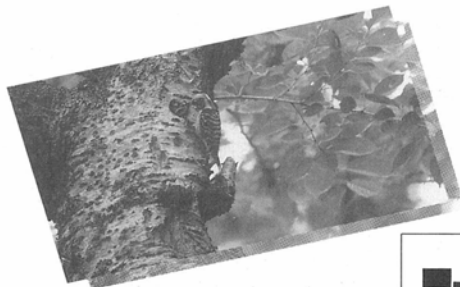
この他にも約二十作を手造りしたそうで、昭和六十三年には正法院（阿弥陀川）の鬼瓦も手掛けております。

今の時代では、張間さんのように自分で型をとり、造る技術を持った人は何人もいないと聞きます。

「自己流ではありませんが、色々な本や物を見て造って来ました。機械で造った物も市販されていますが、彫りに深みがない」と言います。

立派な出来上がりですので、一度ご覧下さい。

六十八歳という年にはとても見えない張間実さん、好きな鬼瓦造りに今日も頑張る。



みくつけた 29

蓬田八幡宮境内で「キツツキ」を見つけました。
正式名称はキツツキ科のコゲラと言います、現在、桜の木に巣穴を造り子育て中です。
大きく口をあけて待っている子鳥に、雄と雌が交替で、一生懸命餌を運びます。
丈夫に成長し、早く単立ってほしいものですね。

7月行事予定

| 日 | 行 | 事 | 担 |
|----|--------------|---|-------|
| 7 | 七夕集会 | | 蓬田小学校 |
| 15 | 父親参観日 | | 蓬田中学校 |
| 19 | 参観日 | | 蓬田小学校 |
| 20 | 校内弁論大会 | | 蓬田中学校 |
| 21 | 玉松海水浴場開き | | 村観光協会 |
| 21 | 終業式 | | 小・中学校 |
| 22 | 夏期休業（八月二十三日） | | 小・中学校 |
| 29 | 村民体育祭 | | 社会教育課 |

けつばる蓬田人 ②

おめでとう

ビクターレコード(株)
歌手 青山美樹さん



蓬田村制一〇〇周年おめでとございます。心より祝い申し上げます。

早いもので故郷蓬田を離れて十七年経ちました。昭和五十年友人が応募したNHKのど自慢大会「悲しい酒」で優勝。それがきっかけで歌手になり今日まで来ました。

芸の道はきびしく時々挫折そうにもなりましたが、そんな時故郷の寒さを思い出し、がんばらなければいけない、東北人は強い人だと言いつつ聞かせ

ながら、がんばって来ました。そのかいあって自分の事務所(青山音楽事務所)を東京でもち現在沢山の生徒も出来、この仕事に誇りをもっております。

時々青森県人会のパーティーに出演させていただきます。そんな時、広瀬の人や蓬田の人に逢うことが出来「がんばれよ!」と励ましてくれます。

いつも私のそばには故郷の歌があります。私自身書いてもらった歌を紹介させていただきます。

津軽女の雪化粧

作詞・京 一夫
作曲・黒田英明

①北の海峡 後にして

夢もしばれる こんな夜
雨もさみしい 望郷しぐれ
泣いた目頭 そっと拭く
津軽おんなの 雪化粧

②晴の舞台に 身をまかせ
かけましましょ 命まで
頬は林檎の 望郷しぐれ
濡らすまぶたで 花道を
津軽おんなの 雪化粧

③いつか帰ると お母さん
山の雪解け 咲く花も
土産いっぱい 望郷しぐれ
ここは故郷 夢の中
津軽女の 雪化粧

昭和六十二年ビクターレコードより発売
この歌を唄う時、必ず故郷を思い出します。私の心のこりは三番の歌詞の心境が叶え



られない内に母が亡くなった事です。
現在東京では「下町のひばり」と言われ、美空ひばりを二十曲唄うライブコンサートを開催したり、大きなステージでは中野サンプラザで九月四日「日本歌謡祭」に出演いたします。(テレビ東京で放映)。又、仕事の合間を見て月一回障害者福祉センターで歌唱指導を行っております。

めも

▶現住所/(自宅)千葉県船橋市習志野台5-34-18/(事務所)青山美樹音楽事務所/東京都墨田区押上1-21-1アサビル内/☎03(622)4108▶本名/太田美智子▶芸名/青山美樹▶生年月日/昭和16年5月2日▶出身/広瀬/太田信雄氏姉▶好きなもの/旅行・犬(ペット)▶経歴/社団法人日本歌手協会会員

今、自分の仕事が人の為になると思うととても嬉しく、これからも一生懸命歌一筋に生きて行くつもりです。
生まれ故郷の皆様には何かお役に立ちたいと思います。ぜひ機会がありましたら出演させて下さい。
お役に立てれば光栄です。最後に蓬田村の益々の御発展を心よりお祈りしております。

戸籍の窓



人口と世帯数
(5月31日現在)

総人口 4,177人
男 2,022人
女 2,155人
世帯数 1,056世帯

5月受付分

お誕生おめでとうございます

木村 英司 (真好司) 長男
小松 由佳 (則雄) 長女
田中 秀美 (功美) 長女
久慈 和弥 (広省) 長男
三上 匠 (範夫) 長男

ご結婚おめでとうございます

(本間 貢 (郷沢)
(吹田 恵理香 (青森市)
(佐々木 光幸 (木造町)
(中川 久美子 (郷沢)
(中村 春一 (蓬田)
(佐々木 和子 (青森市)

おくやみ申し上げます

佐井 キヨ (広瀬 81歳)
小松 ナサ (蓬田 73歳)
松本 順一 (長科 45歳)
東澤 勇 (阿弥陀川 69歳)
坂本 一郎 (中沢 76歳)
津島 シナ (蓬田 86歳)